

TOTO シングルレバー混合栓施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

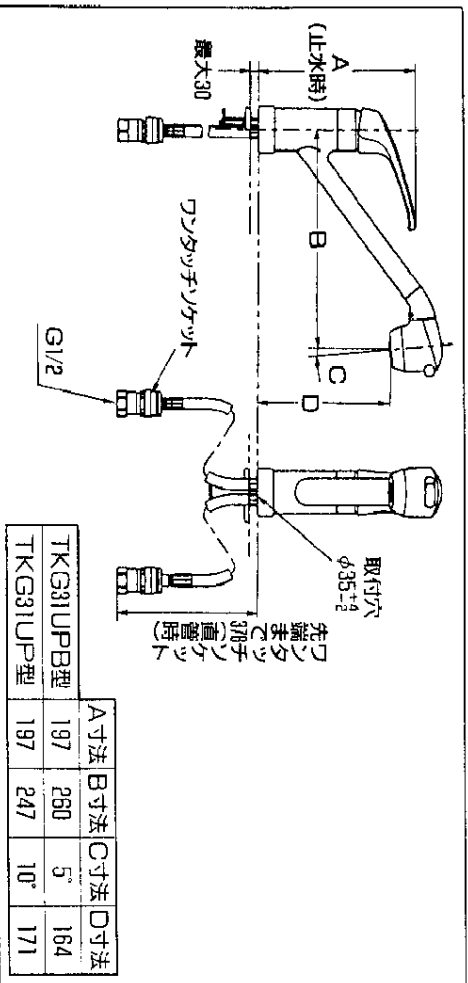
△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△注意

- (1)湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- (2)凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

完成図

TKG31UPB型、TKG31UP型



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使用条件

1. 使用水圧

(1)瞬間型給湯機と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧………(表参照)
最高水圧………0.75MPa

(設定条件)

- レバーハンドルは全開
- 吐水温度：38°C
- 給湯配管長さ：5m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする
- 吐水はソフト吐水(TKG31UPB型)

※能力手動切替タイプで、水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

器具入口部における最低必要水圧(MPa)

給湯機タイプと号数	最低必要水圧
能力手動切替タイプ	A+0.4
TOTO カスタム制御方式	0.12(0.09)
12号	
10号	
18号	
20号	
16号	
20号	0.08(0.07)
24号	
アクトライ	
スーパークラライ	0.06(0.05)
32号	
21号	0.08(0.07)
24号	0.06(0.05)
TOTO ハイトリオン制御方式	
18号	0.08(0.07)
TOTO コマント	
24号	0.07(0.06)
21号	
TOTO ハイコマント	
24号	0.06(0.05)

注) ()内はTKG31UP型
注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。
(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

(2)貯湯式温水器と組み合わせる場合
給水・給湯圧力
最低必要圧力
0.05MPa
最高圧力
0.75MPa

(3)給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯温度
- 1) 給湯に蒸気を使用しないでください。
 - 2) 給湯温度は最高85°Cまでお使いください。
 - 3) 電気温水器ご使用の際は、給湯温度を85°C以下に調節してください。

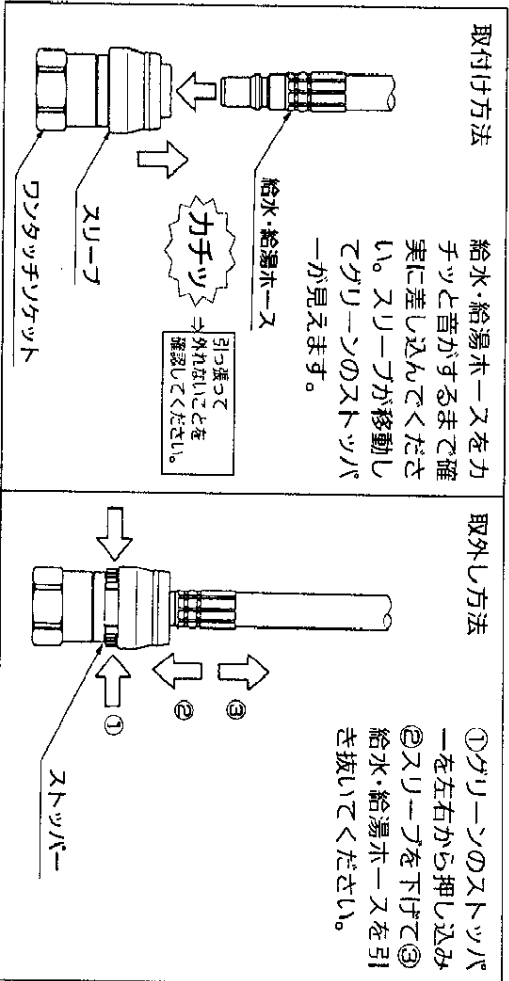
85°C以上で使用になると、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、漏水のため家財に損害を与えるおそれがあります。

3. 湯・水を逆配管しないでください。
給水ホースには㊸ラベルを、給湯ホースには㊹ラベルを張付けています。
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
4. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

取付け前に

より簡単に施工していただくために、本商品は上面施工ユニット、ワンタッチソケットを採用しています。※取付可能なカウンタースタック径はφ88～φ99です。

1. 上面施工ユニット
カウンタースタック内にはあらかじめカウンタースタック上面より混合栓本体の取付けが簡単に行えます。
2. ワンタッチソケット（一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし）
混合栓の給水・給湯ホースとソケットの脱着がワンタッチで可能です。



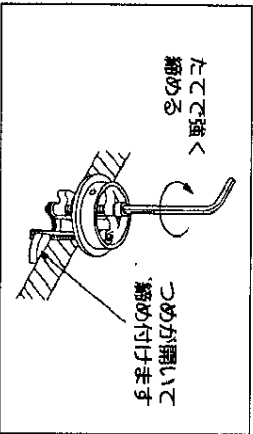
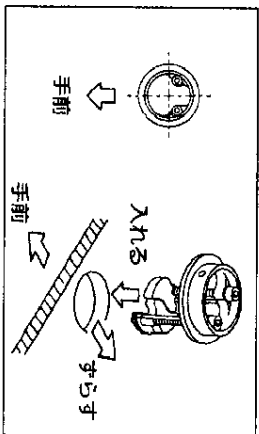
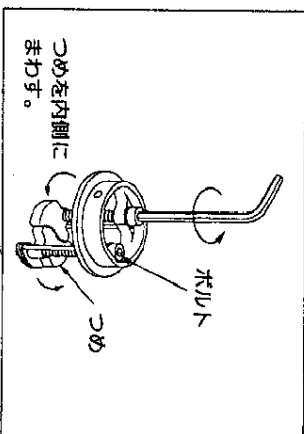
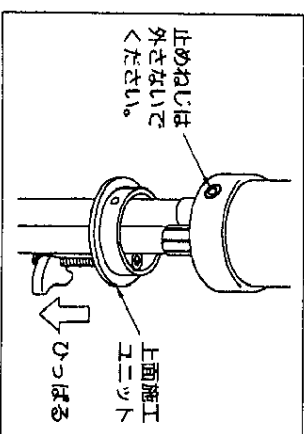
器具の取付け

1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
2. 上面施工ユニットの取付け

(1) 混合栓本体下部から上面施工ユニットを取外します。

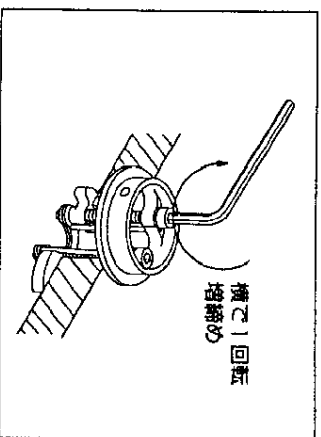
※上面施工ユニットについては同梱の説明書にそって正しく取付けてください。上面施工ユニットを正しく取付けしないと混合栓本体の固定強度が低下し、本体にガタが発生するなど不具合の原因となります。

(2) 取外した上面施工ユニットのボルトを回してつめを内側にまわし、閉じた状態にしてください。

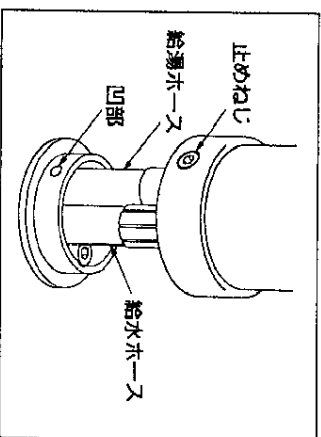


- (3) つめが閉じた上面施工ユニットをカウンタースタックの穴に入れ、後方に止まるまで押し当ててください。
- ※この時、上面施工ユニットの方向に十分注意してください。
- ※ハンドリシャワータイプの混合栓は方向が異なりますので、専用の説明書をご覧ください。
- (4) 上面施工ユニットを後方に押し当てたまま六角レンチをたてにしてボルトを左右均等に締めてください。
- ※この時、左右のつめがしっかりと開いていることを確認してください。
- つめが開いていない場合は指でつめを開いてください。

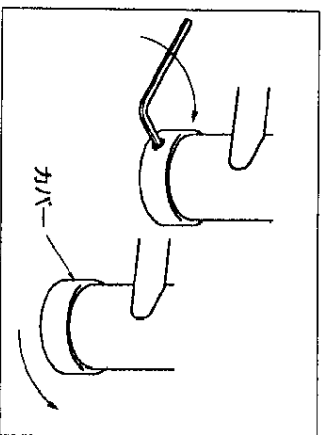
(5)さらに六角レンチを横にしてボルトを1回転増締めして上面施工ユニットを確実に固定してください。



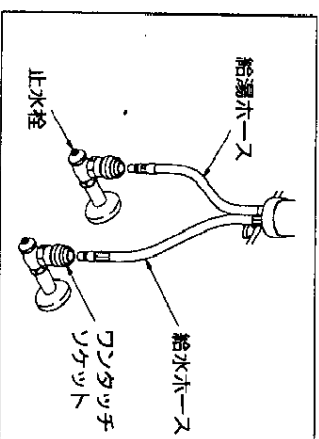
(6)混合栓本体の給水・給湯ホースを上面施工ユニットに通し、混合栓本体の止めねじと上面施工ユニットの凹部をあわせるように混合栓本体をしっかりと合わせます。混合栓本体に浮きがないよう注意してください。



(7)混合栓本体の止めねじを締めて混合栓本体を固定してください。さらにカバーを回して止めねじ用穴が混合栓本体の後側にくるようにしてください。



(8)ワンタッチソケット（一般用：逆止弁付、寒冷地用：逆止弁なし）を止水栓に本固定し、給水・給湯ホースをカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
注) この時、ホースを必要以上の力で曲げて折らないよう注意してください。万一折れた場合は、指でつまんで元どおりにしてください。



3. 給水・給湯ホースの施工上の注意点

(1)給水・給湯ホースを逆に使用しないでください。

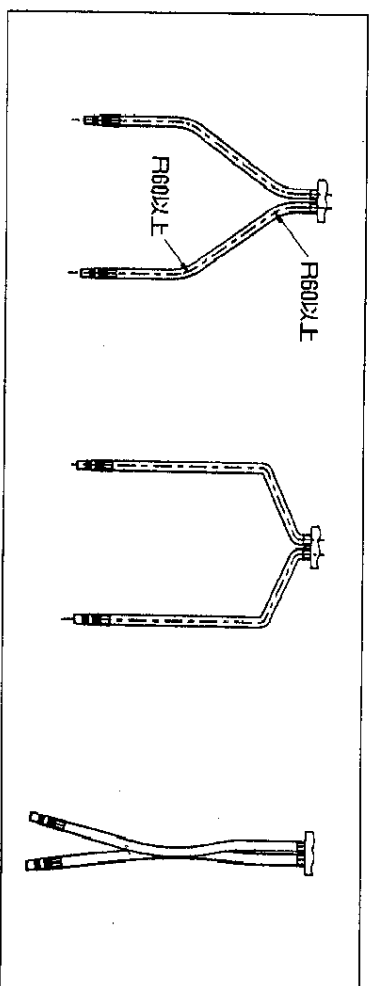
(2)ホースの折れに、ご注意ください。

ホースを最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げて使用しますと、ホースが折れることがあります。折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

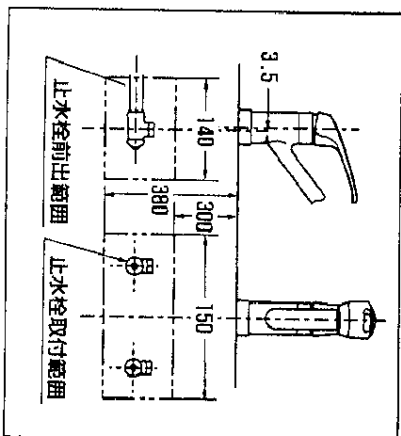
(3)金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

(4)ホース同士の不要な接触は避けてください。

外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性がありますので避けてください。

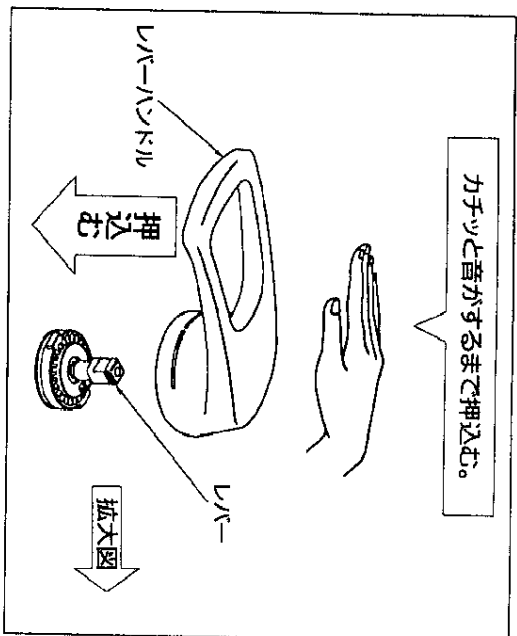


4. 給水・給湯ホースの施工について
このホースの施工については、右図に示す範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。



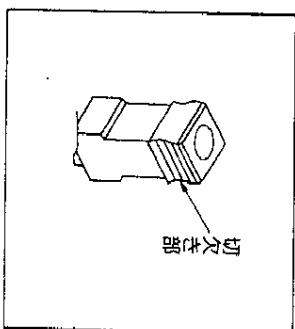
レバーハンドルの取付要領

カチツと音がするまで押込む。



このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。
正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。
万一方向をまちがえて取付けた時は、レバーハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。
最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

使用上の注意

この商品は、ウオーターハンズー低減機構を採用しております。
レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じることがありますが故障ではありません。
レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり開めてください。

寒冷地用の水抜き方法

寒冷地用の場合は、器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜きコックの操作とあわせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

〈水抜き手順〉

- (1)レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。
- (2)水抜きコックを開いてください。
- (3)水抜き後は、必ず水抜きコックを強く締めてください。

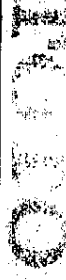
お手入れ

器具がいつでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. ふだんは柔らかい布でふき、ときどきシンナー油やカーワックスなどをしみておいた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。
2. 汚れがひどいときには、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふきとった後、水洗いしてください。
3. クレンザーやみかき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合には、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

再生紙を使用しています。

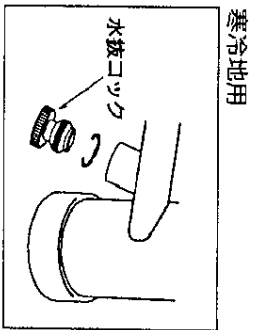
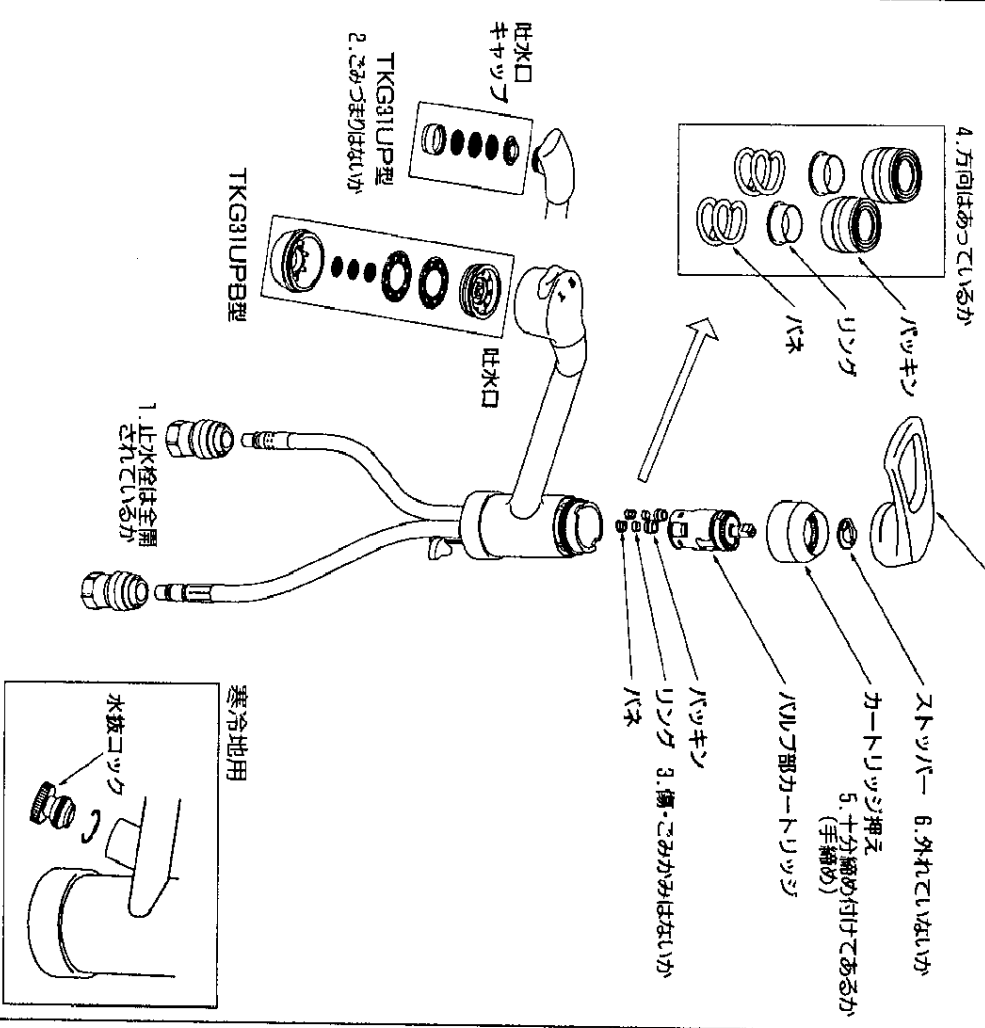
※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡できない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。



分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

故障とその点検箇所	
現 象	点検項目
吐水量が少くない。	1.2
水が止まらない。	3.4.5.6
吐水温度不良。	1.2
ハンドルがガタつく。	7



ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。
 再セットされる際に、ストップパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストップパー側凹部を合わせて押込んでください。
 その際カートリッジ押えの内側の歯とストップパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。

